

## 第1回府中市次世代育成支援行動計画検討協議会 議事要旨

### 【全体のスケジュールについて】

平成16年度11月に計画書の素案を公表する予定であるが、その後1か月程度で市民の意見の収集等を行っていくのは時間的に厳しいのではないかと。

### 【市民意向調査について】

質問項目の順番は様々な工夫の仕方が考えられるが、基本的には本計画において明らかにすべき目標事業量を引き出すための項目が最優先となる。

親の就労状況によって保育のニーズは大きく異なることが考えられるため、各就労形態別のニーズ把握も重要であると考えられる。しかし、今回の調査については、どのようなニーズが府中市全体で存在しているのかという基本的な視点を捉えるためにも、一般的な手法での分析方法がよいのではないかと。

今回の調査で拾いきれない部分については、福祉計画など、過去に別の計画で行った市民意向調査のデータから活かせるものを持ってこることも可能である。

本調査においては、幼稚園が保育サービス一般の中に位置づけられているが、これをどのように解釈するかという問題がある。預かり保育等が多く行われている幼稚園の現状を考えると、保育サービスを提供する機関としての役割も有していないわけではないと思われる。

親の思いをもう少し深く掘り下げるべき項目がある。例えば、回答者がある保育サービスを「ときどき利用したい」と選択した場合、その「ときどき」とはどのような状況にある時なのかという具体的な部分まで把握すべきではないかと。

### 【調査の位置づけと特徴】

子育て支援に関する府中市独自の視点を明確にしていく必要もあるのではないかと。

今回の調査が従来のもっとも異なるのは、行政にこれまで保育申請をしていない人も含めた潜在的なニーズをも捉えようとしている点である。ただし、そうした調査ゆえに、様々な要望が出てくることが予想される。調査結果をどのように吟味していくかについては、本検討協議会の今後の課題。

### 【その他】

NPO法人が行っている子育て支援の取り組みやその果たす役割も、計画の中にきちんと位置づけるべきではないかと。

本計画を通じて、少子化の根本的な解決を目指していくという視点も必要。